

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月27日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0172001075 | | |
| 法人名 | 株式会社 Eライフ恵愛 | | |
| 事業所名 | グループホーム 恵の森 | | |
| 所在地 | 小樽市長橋5丁目17番5号 (電話) 0134-33-7300 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年6月23日 | 評価確定日 | 平成21年7月21日 |

【情報提供票より】(平成21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成18年3月30日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 17 人 | 常勤 | 16人, 非常勤 1人, 常勤換算 13.8人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 軽量鉄骨 | 造り |
| | 2階建ての | 1～2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|------------------------------------|
| 家賃(平均月額) | 35,000 円 | その他の経費(月額) | 光熱水費 28,000 円 暖房費(10～5月) 8,000円 |
| 敷金 | (有) (70,000円) ・ 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 () 円 (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,200 円 | | |

(4) 利用者の概要(6月23日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 6 名 | 女性 | 12 名 |
| 要介護1 | 7 名 | 要介護2 | 7 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 1 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 80.4 歳 | 最低 | 68 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 協力医療機関名 | 松島内科、石橋医院、三ッ山病院、宮の森病院、長橋千葉歯科、石井歯科 |
|---------|-----------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

四季の移り変わりを、身近に感じられる高台に位置している当ホームは、運営者の「利用者が自分の親ならどう対応し、それが自立支援に繋がっているか」との視点に立った熱い思いに、職員は共感し、良質なケアサービスを実践しています。地域の方々との触れ合いを大切に、理念の一節である「めざすのはごく普通の生活です」が、グループホーム恵の森の全てを表しているようです。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の改善課題の、夜間想定訓練と周辺住民との協力体制については、改善がみられましたが、行政担当者の訪問要請、重度化や終末期の指針の文書化は、継続して取り組んでいます。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の自己評価は、日常業務や会議を通して様々な視点から、改善点や振り返りでの気づきなど、話し合いを重ね、ケアサービスの質の向上に繋がっています。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 会議では、ホームの活動状況、外部・自己評価の説明、災害時の連携協力、ホームへの意見・要望などが協議されています。また、会議に参加しやすいように、町内会やホームの行事に日程を合わせる取り組みが行なわれています。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族が意見や要望を表しやすいように、苦情箱の設置や第三者の苦情受付機関を紹介しています。さらに、来訪時や電話で、意見や要望を把握し、改善課題は、解決に向けて取り組んでいます。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 開設時からホーム一丸となって、地域に溶け込む取り組みが続けられています。町内会やホーム主催の行事に相互の参加があるなど、年々地域との繋がりが深まっています。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホーム内に掲げている理念や、パンフレットの中に「地域に密着した開かれた施設をめざしています」との文言を表記し、開設当初から理念に沿ったケアサービスに努めています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 日常業務や会議の中で、理念のあり方を再確認し、実践に向けて取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ホーム建設時の地鎮祭、上棟式、開所時に、町内会の方々に出席していただいたり、町内会やホーム主催の行事に相互の参加があるなど、年々地域との繋がりが深まっています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員全員が自己評価・外部評価の意義を十分理解し、日常業務や会議を通して、改善点や振り返りでの気づきなど、話し合いを重ね、ケアサービスの質の向上に繋がっています。 | | |

小樽市 グループホーム 恵の森

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議は、概ね2ヵ月毎に開催され、地域や家族の方が参加しやすいように、町内会やホームの行事に合わせ、利用者を交えての交流の場となっています。その中での意見や要望は、職員全員の共有とし、ホームの質の向上に活かしています。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政の担当者とは、ホームの運営に関する疑問や問題点を相談し、適切な助言をいただいておりますが、ホーム側からの一方通行になっています。訪問要請はしておりますが、実現に至っていません。 | ○ | 今後は、行政担当者が訪問しやすい曜日や時間帯を考慮し、訪問要請をする計画を立てていますので、訪問が実現され、ホームの運営に向けての協働関係作りに期待します。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者の暮らしぶりや心身の状態は、家族来訪時や電話、さらに3ヵ月毎のケアプラン原案送付時に伝えております。また、利用者の写真を添えての「お便り」や、電子メール、ホーム便りで、詳細な内容が把握でき、家族の安心をいただいております。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族が意見や要望を表しやすいように、苦情箱の設置や第三者の苦情受付機関を紹介しています。来訪時や電話で、意見や希望を把握し、改善課題は職員全員の共有として、解決に向けて取り組んでいます。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 運営者は、馴染みの関係が利用者の安心感に繋がることの重要性を認識して、介護支援に取り組んでいます。離職が生じた場合は、職員全員で利用者の不安を取り除く配慮をしています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の質の向上に繋がる内部・外部研修は、段階に応じて参加できる機会を計画し、研修費はホーム負担としています。さらに、勤務年数に応じて、道内・道外研修や資格取得助成金制度を採用するなどの環境整備に重点を置いています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会を通しての勉強会参加や、ほかのホームとの利用者・職員間の交流が度々行なわれ、お互いの良い点を見習うなど、ケアサービスの質の向上に取り組んでいます。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に利用者、家族、行政担当者からいただいた情報により、生活歴や要望・意見を把握し、さらに、ホーム見学時には、利用者を交えて雰囲気を感じていただくなど、徐々に馴染める環境作りに努めています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は、利用者一人ひとりの思いを尊重し、日常生活を共に過ごす中で、利用者から感謝や労りの言葉を数多く受けています。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待 したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|---|--------------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の生活歴や家族、職員間の情報収集により、一人ひとりの思いや意向を汲み取り、希望に沿った生活が営まれるよう支援しています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者、家族の意見や要望、さらに医療機関からの助言を参考にし、一人ひとりの課題を会議で話し合いを重ね、記録方式による一貫性のある介護計画を作成しています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用開始時には、利用者の状態が安定するまでの介護計画で対応しており、利用者の状態安定後は、3ヵ月毎に見直しを行なっています。心身の状態変化時には、関係者と話し合い、その都度適切な介護計画の変更を行なっています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者、家族の要望に沿い、通院介助、理美容室同行、買物、墓参り、外出などの個別支援をしています。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----------|---|---|--------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者のかかりつけ医への受診はもとより、協力医療機関による月2回の訪問診療により、健康管理が行なわれています。受診時には、利用者の状態を記録した状況提供書を提示し、きめ細やかな対応をしています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者に状態変化が生じた場合は、その都度家族、医療関係者と話し合い、適切な対応が施されていましたが、ホームとして看取りへの指針の文書化がされていないことから、関係者の共有については具体化されていません。 | ○ | ホームとして看取りについては、職員の知識、技術、メンタル面などの態勢強化に慎重に取り組みたい意向ですので、実現に向けて期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者の尊厳を損ねることのないケアサービスを心掛けており、言葉遣いや、さり気ないトイレ誘導、食事介助など、きめ細やかな配慮をしています。個人記録も慎重に取り扱っています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの意向や希望を受け止め、利用者のペースを大事にし、ゆったりと気持ち良く一日が過ごせるよう支援しています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者のその日の体調や意思に応じ、食事の一連の作業を、職員と一緒にこなしています。利用者と職員が共に食卓を囲み、会話をしながら和やかな時間を過ごしています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日、時間は利用者の希望に沿い、柔軟に対応しています。入浴を拒む場合は、声かけや誘導などの工夫により、清潔を保っています。利用者全員が浴槽の中でゆったりと、気持ち良く入浴できる支援をしています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者は得意分野を活かし、家事や畑作業、花壇の手入れなどの役割分担を担っています。趣味の手芸や短歌、活花などは、楽しみごとになっており、特に外出行事でのカラオケ、食事などは、大きな気分転換になっています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候や利用者の心身の状態に合わせ、散歩や買物、屋外での体操、テラスでの食事など、日常的に外出支援をしています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中、各ユニット入口、玄関は施錠していません。ユニットドアにチャイムを付け、出入りを確認しています。利用者は、職員の付き添いの下、自由に出入りしています。不意の外出時に備えSOSネットワークに登録し、近隣の方々の協力体制もとられています。 | | |

小樽市 グループホーム 恵の森

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回避難訓練（消防訓練）を実施し、今後、周辺の住民の方々の連携協力をいただき、夜間想定訓練を予定しています。災害備蓄品もホーム敷地内の収納庫に保管されています。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日の水分量は1,600cc、カロリーは1,600を基本に栄養バランスの取れた食事をそそる食事が提供されています。食事形態も柔軟に対応し、水分量、食事摂取量は、毎日チェック表で確認しています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花が、玄関、廊下、居間に飾られており、大きな窓から入る日射しが、明るく広々とした共有空間を、より一層居心地良く過ごせる場所にしています。上質な調度品、絵画、外出行事での満面笑みの写真や作品が生活の中の潤いとなっています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広いスペースのクローゼットが備えられ、その中に生活用品が収納されています。清潔感ある居室の中で、利用者は馴染みの調度品に囲まれ、居心地良く過ごしています。 | | |

※ は、重点項目。